

2015. 3. 21



# NPOフォーラム・だより No.65

## NPO法人安房文化遺産フォーラム

代表 愛沢 伸雄

〒294-0036 千葉県館山市館山 95 小高記念館 TEL&FAX:0470-22-8271

Eメール awabunka@awa.or.jp 公式サイト http://bunka-isan.awa.jp

会員・寄付募集中! ⇒ 郵便口座 00260-1-97307 名義:NPO法人安房文化遺産フォーラム  
年会費=A会員 2,000 円(総会出席権あり)/B会員:個人 1,000 円(ニュースのみ送付)・法人 10,000 円

新しい年度が始まりました。「戦後 70 年」にあたる本年は、本土唯一館山に4日間の直接軍政を敷かれた期間中の9月5・6日に、第 19 回戦争遺跡保存全国シンポジウム館山大会が開催されます。詳細は次号でお知らせします。これに向けて、多くの証言を求め、「平和の文化」にあふれたまちづくりを進めたいと願っています。どうぞご参加ください。

### ■ 布良を語る会

◎ 3月24日(火) 13:00~ 布良崎神社集会所

青木繁《海の幸》誕生の漁村・布良では、14歳で志願し大日本潜水技術員養成所で特攻「伏龍」の訓練を受けたとか、布良沖で攻撃を受けた駆潜艇の負傷者を救助したという証言もあります。

### ■ 赤山ガイド学習会

◎ 4月5日(日) 9:30~/13:00~ 赤山地下壕・豊津ホール

赤山地下壕は日米開戦前から掘り始められていたという重要な証言があり、ます。関東大震災で壊滅したにもかかわらず、全国でも早い時期にモデル的な地下壕として建設されたと推察されます。赤山地下壕に隣接して、1926年に開かれた青山学院水泳部合宿所(錬成道場)は、1941年12月に海軍から施設譲渡の依頼があり、翌年1月20日付けで手続きが完了したことが分かっています。

午前は赤山ガイドサービス、午後は聞き取り調査などを踏まえ、「戦後70年」の取り組みを検討します。

### ■ 椿の里・小原家庭園 お花見ガーデンパーティ

【要予約】 ※雨天中止

◎ 4月11日(土) 12:00~ 参加費 500円

小原家住宅は築160年の歴史建物で、ご当主はNPO会員の村上吉夫・信子夫妻です。先代の小原謹治は世界的な椿研究者として知られ、広い庭園は椿や桜・桃・菜の花など色とりどりの美しさです。今年もNPO会員の懇親を深めましょう。差入れ大歓迎!お友達やお孫さんも一緒にどうぞ。

### ◆ ツアーガイド&講演のスケジュール

… ガイドスタッフ募集中!

3月26日(木) 9:00~14:30 曹洞宗関東管区 9名=座学・赤山・かにた村・大蔵院

3月29日(日) 9:00~12:30 中央区小塚大師研究会 50名=小塚大師・安房神社・布良崎神社

\*小塚大師開創1200年記念大法要ご本尊特別御開帳摩訶焚き

3月30日(月) 10:00~16:00 川口市退職女性教職員会の会 10名=座学・赤山・かにた村

4月5日(日) 9:30~12:00 赤山地下壕ガイドサービス

4月29日(水) 15:30~16:30 昭和女子大学付属高校4年 230名=座学

4月30日(木) 10:00~12:00 // =赤山

\*那古海岸の同学 望秀海浜学寮から遠足

5月3日(日) 9:30~12:00 赤山地下壕跡ガイドサービス

5月13日(水) 10:15~12:30 トスラブ健康増進ウォーキング 20名=赤山・掩体壕・ヒカリモ・ビヤクシン・城山頂上

5月18日(月) AM 米国モンレーのライドン・サンディ氏一行=赤山・上陸地・かにた村

5月19日(火) PM // =布良(阿由戸の浜・小谷家住宅・布良崎神社)

\*明治期に渡米した房総アワビ漁師移民史をめぐる日米交流

6月8日(月) 9:30~15:30 木更津市岩根東地区民生委員児童委員協議会 15名=座学・赤山・かにた村

6月22日(月) 10:30~15:00 千葉県立大原高校2年 111名=座学・赤山・掩体壕・上陸地

◎ 赤山地下壕の臨時休壕

4月12日=県議会議員選挙

4月26日=市議会議員選挙

ガイドの見習いやアシスタントの同行も大歓迎! 関心のある方は事務局までご連絡下さい。

# 安房の高校から支援活動20年

# 交流の像 ウガンダに

ウガンダの首都にこのほど、館山市の彫刻家が制作したブロンズ像が建てられた。安房地域の高校生が、ウガンダに対して20年続けている寄付、交流活動の象徴だ。支援の仲介窓口を務めてきた旧安房南高校の元教師愛沢伸雄さん(63)（館山市）に届いたメールには、像を囲む大勢の子どもの写真が添付されていた。

支援活動が始まったのは1994年。南高の教師だった愛沢さんが、来日中のウガンダの男性と出会ったのがきっかけだった。

ウガンダの男性は、エイズ孤児の救済活動をするNGO「ウガンダ意識向上協会」のスチュアート・センパラ代表(57)。ウガンダの内戦やエイズ流行を知った愛沢さんのアドバイスで、生徒会が支援を呼び掛け、衣料品や学用品を送る活動が始まった。南高が安房高校に統合された後も続き、さらに安房西高校

昨年9月には、3校の生徒や卒業生らが交流会を開催。旧安房南高の元美術教師、船田正廣さん(77)（館山市）が、高さ108センチのブロンズ女子生徒立像を記念碑としてウガンダに贈ることを申し出た。

（笹川実）



メールに添付されていた写真。ブロンズ像の左がセンパラさん（愛沢さん提供）

センパラ代表からの報告は今年1月、愛沢さんにメールで届いた。添付された礼状は「館山との出会いは、恵まれないウガンダの子どもたちにいい影響を与えている。像は、結ばれた心そのものだ」とつぶやかれ、像の周りに集まったセンパラさんと現地の子どもの写真も添付されていた。

「支援の証がいい場所に建った」と船田さん。愛沢さんは「民間の交流、支援は無理のない範囲で、今後も続けたい」と話す。

昨年、支援活動20周年記念誌「20年のあゆみ」が刊行された。旧安房南高卒業生の「支援は自分のためにもなった。活動のがんばりが社会人のいま、励みになっている」との経験談が掲載されている。



20周年記念誌を手にブロンズ像が建ったことを喜ぶ船田さん（左）と愛沢さん（17日、館山市で）

↑ 上の写真は、白いYシャツのセンパラ氏が銅像を抱えています。

読売新聞 2015.2.21

## 関連事業のお知らせ

- ◎ **安房歴史文化研究会公開講座** 主催：安房歴史文化研究会 問合せ 石崎和夫(0470-23-6677)  
3月28日(土)14:00～ 会場：館山市コミュニティセンター第一集會室 資料代 200 円  
発表者 滝川恒昭氏（千葉城郭研究会）  
テーマ「前期里見氏の歴史を考え直すー古河公方足利政氏から里見氏に宛てた新発見文書の検討を通じて」  
天分の内乱により滅ぼされた系統のために、ほとんど解明されていなかった前期里見氏について、貴重な新史料が発見された。それは関東の公方(将軍)というべき古河公方足利政氏から里見氏に宛てた手紙であり、里見氏研究史上初といえる研究が進められた。なおこの史料の公開は研究者間においても、本邦初である。
- ◎ **館山病院健康友の会講演会・総会** 主催：館山病院健康友の会（0470-22-1122）  
4月14日(火)13:30～講演会／15:00～総会 会場：旧館山准看護学校 参加費無料  
講師 酒井康好氏(健康友の会理事)・野口雄一(館山地域包括支援センターたてやま)  
テーマ「介護の実態あれこれ」 ※友の会会員以外でも参加できます。  
介護の制度や支え合いの仕組みなどの実態を学び、これからの地域社会のあり方を考えましょう。
- ◎ **原発被災地支援と福島の新春滝桜見学”一泊の旅”** 主催：年金者組合安房支部 【要予約】  
4月21日(火)～22日(水) 6:00 館山発～富楽里～南相馬～ヘルシーパルあだたら泊(岳温泉)  
9:00 宿舎発～新春滝桜見学～あぶくま洞見学～19:00 館山着  
費用：約 25,000 円(バス代・宿泊・見学料等) 申込：新屋敷孝(0470-47-5650)・小沢義宣(0470-28-0973)  
※南相馬で年金者組合原町支部による被災地案内と交流・支援物資の引き渡しがあります。  
支援物資の提供や支援金のカンパも受け付けます。